

議 事 録

議 題	令和5年度 東京都電設協会との意見交換会	
日 時	令和6年 1 月 10 日(火)14:00～15:15	
場 所	東京都庁第二本庁舎 13 階 局議室	
出 席 者	■一般社団法人 東京都電設協会	5名
	□東京都住宅政策本部	8名
議 事 内 容		
1 挨拶・自己紹介 2 議題 (1) 入札状況・年間発注予定について □ 令和5年度の都営住宅電気工事は、28件の入札を実施、年度末までに4件の発注を予定している。 (2) 週休2日制について □ 災害時の復旧事業等を除き、時間外労働の上限規制が適用され、都営住宅の電気設備工事について週休2日制を適用するに当たり、他工事との調整や働き手の反応について、ご意見を伺いたい。 ■ 建築工事も含め、現場全体の閉所日を設定することにより、週休2日が確保しやすくなる。 ■ 適正な工期設定で各種工事が実施されていけば問題ないので、週休2日工事に賛成である。 ■ これまでに実施している週休2日モデル工事において課題などはあったか。 □ 他工事との工程調整の部分を懸念していたが、モデル工事においては特に問題にはなっていない。今後の本格運用にて発生した課題は、適宜改善していく。 (3) 書類削減等生産性向上への取組について □ ASP 等の書類削減ツールなどの活用による書類削減についてご意見を伺いたい。 ■ 他の発注者の工事で ASP を実施した際、情報の一元的な管理に課題があると感じた。 □ まずは、書類の電子化を進めることで、提出等の負担軽減が図れることが期待できるため、積極的な実施の協力をお願いしたいと考えている。 ■ 工事着手届等の提出書類が電子回付できれば、非常に有意義と考える。ぜひ推進していただきたい。 (4) 工事現場における遠隔臨場について □ DX 推進の取組の一環として令和2年から遠隔臨場を試行してきており、令和5年 12 月から本格実施した。本件について、概要を説明する。(住宅政策本部ホームページ掲載の「都営住宅建設事業の建設現場における遠隔臨場に関する実施要領(案)」にて説明) □ 工種ごとに判断できる一覧表も掲載しているので、積極的に実施していただきたい。 ■ 遠隔臨場を実施する際の経費については、どのように考えているのか。 □ 費用については、原則として共通費に含むものとし、特殊な機器を使用する場合は、監督員との協議による対応となる。 ■ 撮影した映像を録画する必要があるか。		

- 録画自体は不要だが、実施時には作業日報等に記録していただきたい。記録に残すことで、成績評定等に反映することができると考えている。
- 工事監理への適用も可能かと思われるが、活用されるのか。
- 検討中である。遠隔臨場は本格実施したばかりなので、ぜひご活用いただき、何かあればご意見をいただきたい。

(5) その他

- 半導体不足や物価高騰など資材調達への影響について伺いたい。
- 一部のケーブルについて、調達に時間を要しているため、主催している一部の技能講習会を延期している。
- 都営住宅の工事においては、工期への影響は無いと考えている。
- 技術者不足に対する対応状況について伺いたい。
- 工期が延伸すると優秀な技術者が拘束されてしまうため、技術者のローテーションなど効率的な運用ができないか考えているところである。
- BIMについて伺いたい。
- 現状は、2D 又は3DCAD に対応できるため、必要性の観点からはあまり積極的ではない。
- ソフトウェアの調達や端末の準備、操作できる人材の確保などの課題がある。
- 能登半島地震への影響について伺いたい。
- 被災された社員もいるが、現時点では工事上に影響は出ていない。